

議案第1号

令和7年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会 事業報告について

社会福祉法人愛川町社会福祉協議会定款第39条第2項の規定により、令和7年度事業報告について評議員会の承認を求める。

令和8年5月28日提出

社会福祉法人愛川町社会福祉協議会
会 長 石 井 康 弘

本協議会は、住民参加による福祉活動の中核として、関係行政機関、地域住民等と協力のうえ、民間社会福祉団体としての特質を生かしつつ、『住民総参加によるふれあいのまちづくり』を目標に、概ね次のような事業を行った。

事業の概要

地域福祉・在宅福祉の総合化に向けて

1. 福祉問題・福祉動向等の把握に向けて

(1) 福祉総合相談の実施

福祉に関する総合相談に対応した。

◆相談件数（対象者別）

（単位：件）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
高 齢	18	15	18	17	19	23	15	15	14	8	5	9	176
障 が い	2	2	3	7	8	3	4	6	5	4	3	1	48
傷 病	0	1	0	1	0	1	1	2	0	0	1	1	8
子 育 て	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ひ と り 親	1	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	6
低 所 得	8	12	3	11	12	7	3	12	7	7	5	9	96
一 般	7	11	8	6	10	7	5	3	2	1	4	3	67
合 計	36	41	32	43	49	41	31	38	29	20	19	23	402

◆相談件数（内容別）

（単位：件）

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
介護保険制度	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
障がい福祉制度	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
福祉サービス・事業	14	10	8	11	14	10	13	10	10	7	7	9	123
ボランティア	6	13	12	13	9	12	9	9	7	3	4	1	98
寄 附	2	2	0	1	5	1	1	0	0	0	0	1	13
権 利 擁 護	8	4	4	8	4	12	4	6	5	5	2	3	65
福 祉 機 器	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	6
貸 付	3	6	3	7	7	3	2	8	1	3	4	6	53
苦 情	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
そ の 他	7	4	6	7	5	10	2	3	5	3	2	3	57
合 計	40	40	36	48	45	49	32	36	29	22	20	23	420

・権利擁護相談事業の実施

成年後見制度や遺言の活用、高齢者を狙った消費者被害等に対する専門的なアドバイスを目的に相談会を開催した。

成年後見 5 件 相続 2 件 遺言 1 件

(2) 福祉情報の集約化

- ・関連行政機関及び関連団体との連携、協力体制の推進
各種委員会へ委員を派遣した。

○愛川町シルバー人材センター

○生涯学習推進プラン推進会議

○愛川町男女共同参画基本計画推進委員会

○愛川町介護保険・地域包括支援センター運営審議会

○愛川町福祉のまちづくり推進委員会

(3) 各種計画の推進

- ・第 4 次地域福祉計画・地域福祉活動計画および第 6 次社協発展計画の進行管理
- ・第 5 次地域福祉計画・地域福祉活動計画および第 7 次社協発展計画の策定

愛川町との協働体制により、町福祉支援課等との合同事務局による地域福祉計画・地域福祉活動計画の一体的な進行管理を行い、理事会において社協活動計画の進行管理を行うと共に、それぞれ次期計画の策定を行った。

○第 1 回 愛川町福祉のまちづくり推進委員会

期 日 11 月 10 日

場 所 町福祉センター

内 容 計画の進捗状況、計画の策定及び今後の予定について等

○第2回 愛川町福祉のまちづくり推進委員会

期 日 3月25日
場 所 町福祉センター
内 容 計画の策定について等

○計画関連調整会議（理事会）

期 日 7月11日
場 所 町福祉センター

○第5次地域福祉活動計画及び第7次社協発展計画の策定

町民ワークショップ 3回開催

住民懇談会 1回開催

福祉関係団体懇話会（ヒアリング）2回開催 対象23団体

○愛川町との合同事務局会議 17回開催

2. 福祉の理解と活動の周知に向けて

(1) 広報・情報提供活動

- ・社会福祉協議会事業の紹介及び福祉意識の高揚を図るため、広報紙を発行した。

○社協あいかわ（第136号、137号） 年2回発行

○社協あいかわお知らせ版（No.122～No.124） 年3回発行

- ・情報化推進事業

社協ホームページを随時更新した。

- ・障がい者・高齢者ICT教室（スマホ相談会）

シニア世代でもスマートフォンを活用し、インターネットを通じて誰でも身近に様々な情報が入手できる利便性を実感している方が増えている一方で、操作に不安があることで活用できていない方も多いスマートフォンについて、さらなる活用促進を目的に相談会を開催した。

第1回	期 日	8月21日	参加者	6名
第2回	期 日	9月10日	参加者	11名
第3回	期 日	10月7日	参加者	12名
第4回	期 日	11月7日	参加者	10名
第5回	期 日	12月19日	参加者	10名
	場 所	福祉センター		
	講 師	株式会社ポスト		

(2) 地域福祉推進・啓発活動

- ・福祉の月の設定

だれもが住みよい福祉社会を実現するため、福祉の月を設定し、啓発活動を行

った。(主唱 愛川町・社協)

○愛川町社会福祉大会 10月18日 町文化会館ホール

◆社会福祉協議会会長表彰(敬称略)

[福祉功労表彰]

郷間静男 中臺康文 高木光人 伊藤拓也 伊藤洋子 佐久間順子 高階蘭
森田栄美子 佐々木茂 山崎圭太 河内晴子 野口博史 国際ソロプチミスト愛川 斉藤絹枝後援会 日本ゴルフ場企画(株)相模野カントリー倶楽部

[善行者表彰]

門屋路子 成井恵美子 中村裕子 山田常雄 黒澤カズヨ 山内潔
中山裕次 染木清子 柴寄藤江 愛甲商工会 日本発条労働組合厚木支部
(社)神奈川県信用組合協会・(株)オリエントコーポレーション・相愛信用組合
厚木愛甲地区更生保護女性会

・あいかわ福祉のひろば事業 わいわいスペース

わいわいスペース実行委員会(ボラ連主管)を設け、内容を検討し、ボランティアグループの紹介、イベント、模擬店コーナーなどを開催した。

期 日 10月26日 場 所 福祉センターホール、前庭

・福祉講演会

町民の福祉意識の高揚を図るため、福祉講演会を開催した。

期 日 2月11日

場 所 町文化会館

講 師 笠井 信輔 氏(フリーアナウンサー)

演 題 子育て、そして…がん アナウンサーパパ奮闘記

参加者 120名

・ふれあい広場

町民一人ひとりが「ともに生きる仲間である」との認識を深め、みんながぬくもりと生きがいを見いだせる福祉のまちづくりをめざして、交流の広場を開催した。

期 日 11月22日 場 所 田代運動公園 参加者 691名

第1回実行委員会 期 日 8月26日

第2回実行委員会 期 日 9月30日

第3回実行委員会 期 日 12月1日

・“愛川の底力”住民委員会の設置

地域住民相互による支えあい活動のネットワーク化を図り、地域住民自身が主体となった活動の仕組みを作ることを目的に組織化し、地域福祉についての協議の場として設置した。

第 1 回	期 日	10 月 1 日
	内 容	移動について等
第 2 回	期 日	3 月 13 日
	内 容	地域の活動について等

(3) 福祉教育推進・支援事業

・ 出前講座や「やさしさを育む教室」の実施

○総合的学習等への協力

菅原小学校	(手話体験指導)	1 学年、2 学年	10 月 23 日 12 月 16 日
〃	(車椅子体験指導)	3 学年	1 月 29 日
愛川中学校	(福祉教育教材貸出)	高齢者疑似体験セット	10 点
愛川東中学校	(手話体験指導)	2 学年	12 月 9 日
中津小学校	(高齢者疑似体験)	4 学年	6 月 13 日
〃	(車椅子体験指導)	〃	6 月 23 日
中津第二小学校	(手話体験指導)	1 学年、2 学年	10 月 28 日
		3 学年、4 学年	10 月 29 日

○出前講座

北央医療生協愛川・清川支部 「わたしのこれからノート」書き方教室
 笠井グループ（個人宅） 「わたしのこれからノート」書き方教室
 愛川町役場職員 認知症サポーター養成講座
 北央医療生協愛川・清川支部 認知症の理解と予防について

・ 福祉教育活動助成事業

学校教育の一環として福祉への理解と関心を高める福祉教育活動に対し助成を行った。

小学校 6 校、中学校 3 校、高等学校 1 校に助成を行った。

・ 職場体験学習への協力

11 月 6 日～7 日	愛川町社会福祉協議会	愛川中原中学校生徒	1 名
	愛川町ありんこ中津作業所	愛川東中学校生徒	2 名

・ 福祉教育連絡協議会の開催

期 日 8 月 19 日(火) 場 所 町福祉センター
 町内小中高校 10 校、教育委員会指導室、福祉支援課、ボランティア
 出席者 18 名

(4) その他

福祉啓発物品の作成	古切手等の収集活動
福祉図書資料の提供	ビデオライブラリー貸し出し事業

3. 関係機関・団体・施設等との連携に向けて

(1) 連携団体

- ・各種団体等会議への出席及び関連機関との協力

民生委員児童委員並びに福祉団体等との連携を深めるため、各種会議に出席し情報把握に努めた。

また、地方公共団体等と常に連絡を密にし、民間団体としての特性を活かしつつ、その実施する福祉施策に協力した。

- ・福祉団体合同新年賀詞交歓会 1月17日 町文化会館

〔参加団体・順不同〕

身体障害者福祉協会 保護司会 更生保護女性会 手をつなぐ育成会
母子福祉会 老人クラブ連合会 遺族会 ボランティア連絡協議会
民生委員児童委員協議会 シルバー人材センター 特別養護老人ホーム
志田山ホーム 特別養護老人ホームミノワホーム 特別養護老人ホーム
愛和の里 介護老人保健施設せせらぎ あいかわ工房 愛川町精神保健
福祉研究会 ここのわ 児童養護施設手まり学園 地域生活支援の会あ
い 愛甲商工会

- ・共同募金運動の推進

共同募金会団体事務並びに共同募金運動の推進に努めた。

○10月1日～31日	赤い羽根募金	募金額	2,146,723円
○12月1日～31日	年末たすけあい募金	募金額	2,328,861円

- ・町民活動サポートセンターとの連携

町民活動サポートセンターとボランティアセンターとで連絡・協調を図った。

(2) 助成事業

- ・地域福祉ふれあい助成事業（21行政区）

各行政区での福祉活動を促進するため、福祉活動事業費の助成を行った。

- ・福祉団体等助成事業（9団体）

福祉団体、老人クラブ連合会、高齢者サロン等の福祉活動を促進するため活動費の助成を行った。

(3) 社会福祉法人代表者会議の開催

社会福祉法人をはじめ、多様な福祉施設等の代表者による会議を実施し、福祉動向の把握や協働事業などの展開に向け、一層の連携強化に努めた。

第1回	期日	9月18日	場所	町福祉センター
	出席者	10名		

第2回 期 日 3月19日 場 所 町福祉センター
出席者 10名

4. 活動の担い手の開拓・組織化に向けて

(1) ボランティアの開拓と組織化（ボランティア育成）

・ボランティアサマースクール

学校の夏休み期間中、町内在住在籍の中学生、高校生を対象に、高齢者や障がい者への理解と関心を高めるとともに、生きる尊さや人との関わり、支えあいの素晴らしさを学ぶ機会として講座を開催した。

期 日 7月29日、30日
内 容 町内高齢者施設での体験学習
参加者 1名

・災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害発生後、復旧、復興に向けて参集したボランティアの調整をする『災害ボランティアセンター』の設置、運営には、地域の力が必要不可欠なため、調整、運営等の役割を担う災害ボランティアコーディネーターの育成を図ることを目的に講座を開催した。

期 日 1月24日
場 所 町福祉センター
参加者 30名

・福祉教育サポーター養成講座

町内教育機関等での福祉教育を推進するため、児童・生徒にとって身近な存在である地域住民による支援が行えるよう、福祉教育サポーターの育成、組織化を目的に開催した。

1日目の研修では、一般社団法人 conbrio 横浜青葉 佐藤 久美 氏（愛川町スクールカウンセラー）を講師に招き、「児童・生徒との関わり方と理解」と題し講義が行われたほか、2日目はあいかわ福祉教育サポータークラブの会員による指導方法の解説が行われた。

期 日 9月25日
1月29日学校で行う福祉教育支援活動に体験として参加
場 所 町福祉センター、菅原小学校
参加者 3名

・傾聴ボランティア養成講座

地域での見守り活動や施設訪問に向けた傾聴ボランティアの育成を目的に傾聴の基本、方法を学ぶ講座を開催した。

期 日 1月14日

場 所 町福祉センター
テーマ 「傾聴の基本、方法を学ぶ・傾聴ボランティア活動について知る」
講 師 アクティヴリッスン 代表 澤村 直樹 氏
参加者 23 名

・ボランティアのつどい

ボランティア利用者やボランティアが、地域にとってより有効的な活動を展開するための学習の場として開催した。

ふれあいサポート研究所 所長 杉浦 史晃氏を講師に招き、「笑顔を引き出すボランティア活動」をテーマに講演会を行った。

期 日 2 月 11 日
場 所 町福祉センター
参加者 57 名

(2) ボランティア活動等への援助

・ボランティアグループ等への助成

ボランティア活動、当事者等団体の活動に協力、助成を行った。

ボランティア団体等 9 団体

愛川町食生活改善推進団体味彩会 愛川レクリエーションクラブ あシボ
マジック愛川クラブ 愛川町録音ボランティアグループかえでの会
傾聴ボランティアなごみ あいかわ町災害ボランティアネットワーク
あいちゃんサービスセンター おもちやの病院愛川

・ボランティア連絡協議会への協力

ボランティア連絡協議会の活動・事業等に対し、協力・助成を行った。

・ボランティアグループ等スキルアップ講座

既存ボランティアの活動活性化を目指し、自分も相手も大事にするコミュニケーション、向き合い方である「アサーション」を学ぶ機会として講座を開催した。

期 日 10 月 9 日
場 所 町福祉センター
テーマ 「自己尊重のコミュニケーション アサーションについて」
講 師 特定非営利活動法人 ゆどうふ
理事長・臨床心理士 辻岡秀夫氏
参加者 9 名

(3) 災害ボランティアセンター

・災害ボランティアセンター設置運営訓練等

6 月 21 日総合防災訓練時に、QRコードを使用し受付訓練を行った。また、

BCPに基づき、1月24日の災害ボランティアコーディネーター養成講座を開催し、災害ボランティアセンターの立ち上げ、運営の方法等について、より実践的な訓練を行うとともに、あわせて災害ボランティアセンター設置運営マニュアルの検証を行った。

- ・災害復興支援事業

災害ボランティアセンター等の災害支援情報の提供を行うとともに、継続する各種義援金等の案内・受付を行った。

- ・災害備蓄品の整備

災害に備えるため100名程度3日分の災害備蓄品の整備を行った。(飲料水、主食、副菜等)

(4) その他

- ・ボランティア情報紙の発行

- ・ボランティアグループ(かえでの会)との協働事業

「広報あいかわ」「社協あいかわ」「議会だより」等の定期刊行物について延べ50種類の録音CDを作成した。

- ・地域福祉活動、募金活動等の行事に行政区役員の協力を得た。

- ・ボランティア登録及び相談活動を実施した。

ボランティア登録者数 個人6名、団体14団体

- ・神奈川県社会福祉協議会会長感謝(敬称略)

〔ボランティア功労団体〕 あシボ

〔ボランティア功労者〕 甘利 弘子 石井 靖子 遠藤 幸夫

- ・メールボックスの設置

福祉センター1階ロビーにボランティアグループ等の連絡用ボックスを設置し、活動の利便を図った。

- ・福祉体験機器の貸し出し

福祉教育やボランティア活動などで活用していただくため、車椅子、高齢者疑似体験セットなどを整備し貸し出しを行った。

5. 援護サービス活動の充実に向けて

(1) 障がい児・者福祉

- ・肢体不自由児日常介助物品支給事業

体幹等に著しい障がいを有し、常時介護者の介護を必要とする18歳未満の肢体不自由児に対し、障がい児福祉の増進を図ることを目的に、日常介助物品購入費を支給した。

支給件数 上期3件、下期4件

- 障がい者に対する就労訓練の場を提供し、地域社会の一員であることを発信することにより「ともに生きる社会」の実現を推進するため、福祉センター1階で売店「ふれあいショップ希望」を運営した。

- 障がい者の積極的な社会参加を促進するため、通院等の移送援助を行った。

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	計
利 用 者		15	23	17	19	15	13	20	16	18	14	14	21	205
介 護 者		6	12	7	6	7	6	8	8	7	7	5	8	87
利用目的	入 通 院 等	11	17	12	13	11	8	13	13	11	10	9	14	142
	日 常 生 活 に 必 要 な 外 出	3	5	5	6	4	5	5	2	2	2	3	4	46
	施設等入退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手 続	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	行 事 ・ 会 議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	2	1	5	2	2	2
		送迎				迎車				待機				
回 数		205 回				2 回				182 回				
距 離 ・ 時 間		1,931 km				20 km				286.0 時間				
障がい等利用区分（重複含む）		身障		要介護				要支援				その他		
		143		184				6				0		
利用種別区分		車椅子		寝台				その他				合計		
		205		0				0				205		

- ・福祉機器貸与事業（特殊ベッド、車いす等）

介護に必要な福祉機器を貸与し、本人や介護者の利便を図った。

(単位: 件)

[illegible]

・理髪サービス事業

衛生上理髪する必要がある寝たきり高齢者等に対し、町内理髪店の協力を得て自宅に出張し、理髪サービス事業を実施した。

理髪サービス実施件数 27 件

・虚弱高齢者等ミニデイサービス事業(受託事業)

在宅の虚弱な高齢者等に対し、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身の維持向上等を図り、その家族の身体的・精神的な負担の軽減を図ることを目的にデイサービス事業を実施した。 実施場所：半原老人福祉センター（毎週金曜日）

◆実施回数

(単位:回)

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
実施回数	4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	3	50 回

◆月別利用者数

(単位:人)

利 用 者	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
高齢・虚弱な者	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838
認知症及び 認知症傾向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の疾病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838

◆ミニデイサービス従事者数

(単位:人)

従 事 者	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
看 護 師	5	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	3	51
介 助 員	34	34	26	29	33	27	35	26	28	20	15	40	347
ボランティア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運 転 手	4	10	8	7	7	6	5	6	8	7	5	5	78
合 計	43	49	38	40	45	37	45	36	40	31	24	48	476

◆サービス別利用者数

(単位:人)

サービス	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
生 活 指 導	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838
日 常 動 作 訓 練	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838
レクリエーション	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838
健 康 チェック	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838
給 食	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838
送 迎	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838
介護予防サービス	70	85	60	67	89	73	93	69	61	63	62	46	838
そ の 他	0	18	29	33	18	19	56	69	31	0	15	0	288

・ひとり暮らし高齢者等訪問給食サービス事業（受託事業）

虚弱なひとり暮らし高齢者等に対し、健康管理、孤独感の解消、安否の確認などを目的に、週3回の訪問給食サービスを行った。

◆配食回数（毎週月・水・金曜日）

（単位：回）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
配食回数	13	12	13	13	13	13	14	12	12	12	12	13	56週 152回

◆月別配食数

（単位：食）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	対象 (人)
ひとり暮らし高齢者	474	434	440	435	426	405	416	342	320	310	286	287	4,575	60
高齢者世帯	91	78	88	88	94	100	99	87	76	83	84	85	1,053	9
身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	9	7	9	9	1	0	0	0	0	0	0	0	35	1
小 計	574	519	537	532	521	505	515	429	396	393	370	372	5,663	70
検 食	ホーム	13	12	13	13	13	14	12	12	12	12	13	152	-
	社 協	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	4	-
合 計	587	531	550	545	534	518	529	443	408	405	382	387	5,819	70

◆配食従事者数

（単位：人）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	登録者
配食協力員	75	71	78	74	70	72	65	56	55	50	47	56	769	12
社 協 対 応	7	3	3	8	8	6	19	16	16	22	23	9	140	-
合 計	82	74	81	82	78	78	84	72	71	72	70	65	909	12

・福祉機器の紹介

福祉用具専門相談員の資格を取得した職員が福祉機器の紹介を行った。

・高齢者サロン活動支援事業

町内において地域住民により自発的に発足した高齢者サロン6団体の連携を図ることを目的に連絡会を開催した。

期 日 8月26日

場 所 町福祉センター

・介護保険事業への協力・支援（ケアプラン自己作成支援事業など）

介護者等の支援を目的にケアプランの自己作成方法等の助言を行った。

ケアプラン自己作成支援件数 10 件

- ・いきいき生活応援事業（エンディングノートの配布と普及など）

これまでの自分の人生を振り返り、今後の生き方や暮らし方を考えるきっかけとなるよう、エンディングノートの配布を行った。

わたしのこれからノート 配布冊数 55 冊

「終活講座 エンディングノート「わたしのこれからノート」活用法」の実施

期 日 9 月 1 日

場 所 町福祉センター

参加者 10 名

- ・あたまの体操教室の開催

6 ヶ月間にわたり専用教材を使用し、認知症の予防に取り組む教室を開催した。

期 間 令和 7 年 9 月から令和 8 年 2 月までの 6 ヶ月間

学習者 11 名

- ・高齢者・障がい者暮らしサポート事業（お元気ですかコール）

在宅のひとり暮らし高齢者に対し、安否の確認、健康状態及び生活状況を確認するとともに孤独感の解消を図り、高齢者福祉の向上を図ることを目的に定期的な電話掛けを行った。

登録者数 2 名

- ・住民参加型送迎サービス事業（愛川お助け便）

高齢等により、移動が困難な方の積極的な社会参加を促進するため、行事への参加、病院への通院等の移送援助（セダン型車両）を運転協力会員と共に行った。

運転協力会員登録 11 名 延べ活動回数 214 回（キャンセル 1 回含む）

◆送迎サービス件数

（単位：人）

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利 用 者		26	18	18	19	14	18	18	12	20	18	12	21	214
介 護 者		13	7	8	8	8	10	8	6	9	7	7	13	104
利用目的	通入院・通入所	24	17	17	19	13	17	16	11	17	15	11	18	195
	買 い 物	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	0	0	6
	各種手続き	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	そ の 他	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	3	10
		送迎					迎車				待機			
回 数		214 回（キャンセル 1 回含む）					5 回				143 回			
距 離 ・ 時 間		2, 124km					62km				208.5 時間			
障がい等利用区分（重複含む）		身障			要介護			要支援			その他		合計	
		119			88			117			2		321	

- ・高齢者買い物支援事業

加齢による体力の衰え等により買い物が困難になった住民に対し、住み慣れた地域で自立した生活が続けられるよう、買い物への移動支援サービスを提供する「高齢者買い物支援事業」実施した。（令和7年7月事業終了）

年間実施回数	4回（月1回実施）
登録者数	1名（延べ利用者数 4名）
ボランティア	3名（延べ協力者数 4名）

(3) 児童・母子福祉

- ・交通遺児世帯援護金支給事業 激励金 0件
- ・母子福祉会事業への協力

(4) 要援護者・要援護世帯等福祉

- ・フードバンク運営事業

個人及び団体等から寄託された食品等を生活困窮世帯等へ提供し、生活再建に向けた自立支援及び地域住民の福祉向上に資することを目的に、フードバンク事業を実施した。

寄付者	一般	20件	受領者	38件
	企業	9件		

- ・被保護世帯入学卒業祝品支給事業

生活保護世帯の児童・生徒に対し、勉学の奨励を行うため、図書カードの支給を行った。

小学校入学	1件	中学校入学	6件	中学校卒業	4件
-------	----	-------	----	-------	----

- ・行路人援護事業 0件

- ・緊急援護資金貸付事業

貸付件数	6件
------	----

- ・生活福祉資金貸付事業（受託事業）

貸付件数	7件（教育支援資金）	貸付総額	4,178,000円
------	------------	------	------------

- ・生活福祉資金貸付事業（特例貸付）フォローアップ支援

新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金貸付制度（コロナ特例貸付）を利用された方へのフォローアップ支援（償還猶予相談等）を実施した。

- ・年末激励金支給事業

在宅福祉の一環として低所得世帯、身体障がい者等に年末激励金を支給した。

〔激励金支給者〕

一人暮らし高齢者(85歳以上) 191 人 身体障がい児者(1級) 303 人
知的障がい児者(A1・A2) 68 人 精神障がい児者(1級)28 人
要援護世帯 4 世帯 福祉団体等 10 団体

- ・災害見舞金支給事業

見舞金支給件数 4 件

6. 愛川町権利擁護支援センターの運営

成年後見制度の利用促進と円滑な制度運用が図られるよう、その中核的な機関となる愛川町権利擁護支援センターの運営を行った。

(1) 愛川町権利擁護支援センター事業（受託事業）

成年後見制度に係る相談対応及び利用支援、普及啓発に向けた広報のほか司法、医療、福祉等による地域連携体制として「愛川町成年後見制度利用促進協議会」を設置し、権利擁護に関する地域の課題等について協議を行った。

【成年後見制度に係る相談件数】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話（新規）	4	0	2	4	2	5	2	1	1	1	0	2	24
電話（継続）	0	0	0	0	1	4	0	0	1	2	0	0	8
面接（新規）	1	2	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	7
面接（継続）	9	15	20	12	11	14	12	10	10	9	22	27	171
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	17	24	17	14	23	14	11	13	12	22	29	210

- ・後見人等受任者調整及び成年後見人等への支援業務

後見人等受任者に関する相談等があった場合などに後見人等候補者の調整及び、後見人等が関係機関等と連携し、適切に対応できるよう支援する機能として、権利擁護推進委員会を設置した。

【委員会委員】

弁護士、司法書士、行政書士、精神保健福祉士、行政関係者

第1回 6月16日

第2回 9月11日

第3回 12月2日

第4回 3月11日

- ・愛川町成年後見制度利用促進協議会

司法、医療、福祉等による地域連携体制を構築し、行政機関、関係機関等及び専門職と意見交換、協議を行う協議会を開催した。

期 日 12月2日

参加者 13 名

- ・成年後見制度に係る広報及び普及啓発業務

- 社協ホームページの更新・チラシの作成

ホームページを随時更新し、権利擁護事業の啓発を行った。

- 権利擁護支援センター啓発パンフレットの配布

- 成年後見制度普及啓発講演会の開催

成年後見制度の普及啓発を目的とした講演会を開催した。

期 日 2月21日（土）

場 所 町福祉センター3階会議室

講 師 小長井・千木良・渡邊弁護士事務所

千木良 正 氏（弁護士・社会福祉士）

テーマ 「いまから考える、私と家族の安心」

参加者 63名

- エンディングノートの利用支援(再掲)

エンディングノートの作成配布 55件

- 終活、エンディングノート活用講座の開催(再掲)

北央医療生協 愛川・清川支部（出前講座）

笠井グループ（出前講座）

いきいき生活講座「終活講座私のこれからノート活用法」

- ・成年後見制度利用支援事業検討会議に出席

町が実施する成年後見利用支援事業検討会議に出席し、専門職としてのアドバイスを行った。

町長申立ての方針案件 6件

(2) 愛川あんしんセンター事業

- ・日常生活自立支援事業（受託事業）

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等を対象に、生活支援員による福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うとともに、専門員による権利擁護に関する各種相談援助を行った。

【日常生活自立支援事業相談件数】

(単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
認知症高齢者等	5	6	4	4	7	11	13	3	5	9	25	15	107
知的障がい者	0	7	1	30	28	34	34	22	41	54	47	48	346
精神障がい者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
身体障がい者	78	91	81	58	53	51	54	31	38	41	55	67	698
その他・不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	84	104	86	92	88	96	101	56	84	104	127	134	1,156
契 約 者 数	6	6	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6	68
生 活 支 援 員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36

・法人後見事業

判断能力の不十分な高齢者、知的障がい者、精神障がい者等の権利擁護を図るため、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等、身上監護を中心とした日常生活の支援を行うため、法人後見業務を行った。

【法人後見事業受任者数】 後見類型・・後 保佐類型・・保 補助類型・・補 (単位:件)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
受 任 者 数	認知症高齢者等	後1	後1	後1	後1	後1	後1	後1	後1	後1	後1	後2	13
	知的障がい者	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	保2	24
	精神障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	37

・法人後見事業審査会

法人後見事業の業務の公平性、専門性を確保し、事業の適正化を図ることを目的に「法人後見事業審査会」を開催した。

期 日 6月16日 9月11日 12月2日 3月11日

(3)成年後見・権利擁護相談会の開催（再掲）

成年後見制度や遺言の活用、高齢者を狙った消費者被害等に対する専門的なアドバイスを目的に相談会を開催した。

成年後見制度 5件 相続 2件 遺言 1件

(4)権利擁護推進事業顧問弁護士の配置

・センター長（弁護士）を1名配置

権利擁護事業に対する助言、相談への対応及び、複雑・多様化した課題に対応するため、弁護士を配置し、センター機能の構築並びに成年後見制度の推進機能強化を図った。

来庁日 計 24回

7. 地域包括支援センターの運営

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活の継続ができるように総合相談、権利擁護、介護予防ケアマネジメント等の事業を行った。

- (1) 高齢者情報の作成・管理・共有化 (2) 総合相談支援業務の実施
(3) 権利擁護業務の実施 (4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務
(5) 介護予防ケアマネジメント業務

◆相談内容件数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談事業	123	125	87	97	79	103	125	104	93	111	107	131	1,285
権利擁護事業	6	5	4	11	21	6	9	5	6	8	9	5	95
包括的・継続的ケアマネジメント事業	121	131	113	96	105	109	102	65	58	67	70	71	1,108
介護予防ケアマネジメント事業	312	283	345	309	275	361	334	281	250	315	292	303	3,660
計	562	544	549	513	480	579	570	455	407	501	478	510	6,148

◆予防給付ケアプラン作成件数（介護保険）

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括 要支援1	38	41	40	44	42	46	46	46	51	47	45	47	533
包括 要支援2	130	132	130	133	129	138	139	139	137	138	132	139	1,616
委託 要支援1	8	8	8	9	10	10	9	9	7	7	7	6	98
委託 要支援2	16	18	16	15	16	15	17	14	16	19	21	23	206
計	192	199	194	201	197	209	211	208	211	211	205	215	2,453

◆介護予防ケアマネジメント作成件数（総合事業）

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
包括 要支援1	26	26	26	25	27	29	24	29	29	34	34	30	339
包括 要支援2	40	40	40	39	42	38	35	37	38	35	34	37	455
包括 事業対象者	11	11	11	10	10	10	12	11	9	11	12	8	126
委託 要支援1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	14
委託 要支援2	3	3	3	3	4	4	4	4	6	7	6	6	53
委託 事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	81	82	81	78	84	82	76	82	83	88	87	83	987

- ・ケアマネジャーを対象に消費者被害対策講座を開催した。 1月20日

(6) 地域におけるネットワーク構築業務

- ・地域ケア会議の開催

ケース検討を通して、実態把握・情報交換・考え方等について検討を行った。

第1回4月17日、第2回7月17日、第3回10月16日、第4回1月15日

- ・ 関係機関との連携強化を目的に各種会議へ出席した。
 - 愛川町民生委員児童委員協議会
 - 愛川町老人クラブ連合会
 - 愛川町介護保険・地域包括支援センター運営審議会（再掲）
 - あいかわ介護支援専門員協会
 - 地域包括連携会議
 - 愛川町成年後見制度利用促進協議会
 - 愛川町在宅医療・介護連携推進協議会
 - 高齢者に対する生活支援サービスの体制整備に向けた協議体
 - グループホーム運営推進会議（3 か所）
 - 生活保護関係機関連絡会

(7) 地域介護予防活動支援事業

介護予防の普及啓発を目的に、老人クラブを対象に講座を開催した。

開催回数 13 回（老人クラブ 11 団体、高齢者サロン 2 団体で開催）

参加者 222 名

場 所 町内の公民館 児童館等

(8) 職員の資質向上のため、研修会に出席した。

長寿社会開発センター地域包括支援センター職員基礎研修 8 月 5 日・6 日

神奈川県介護支援専門員協会地域包括支援センター職員等養成研修

「リスクマネジメント」 12 月 24 日

「地域包括支援センターにおける総合相談の意義」 1 月 14 日

厚木医師会在宅緩和ケア対策推進事業 2 月 7 日

「がん患者と家族に対する心理的社会的支援について」

厚愛地区医療介護連携多職種研修会 2 月 8 日

「独居へのチーム支援～つながりを生む専門職の役割～」

愛川町在宅医療・介護連携推進協議会 多職種研修会 2 月 13 日

「安心して過ごせる場をどう作っていくか」

厚木医療福祉連絡会ケアマネジャー部会研修会 3 月 13 日

「独居高齢者の事例検討会」

(9) 認知症初期集中支援チームの運営

認知症の人又はその疑いのある人やその家族に、認知症の早期から関わる専門職からなる支援体制（支援チーム）を構築し、包括的観察、訪問等支援活動、必要に応じ専門医療機関・専門医と連携し、適切な医療サービスや介護サービスによる安定的なサービスへの移行支援をする事業を行った。

◆チーム員相談件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
家庭訪問 (初回)	3	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	7
家庭訪問 (継続)	1	2	4	6	5	4	1	2	9	10	5	0	49
相談	電話	2	4	1	0	6	4	2	2	6	5	4	37
	面接	3	0	2	1	0	0	2	0	2	2	0	12
	文書	0	0	0	2	1	1	0	0	1	0	0	5
モニタリング	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
チーム員会議	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	6
関係機関調整	4	3	1	1	0	0	1	0	2	6	6	1	25
研 修 会 等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
そ の 他	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4
合 計	14	11	10	12	14	11	9	5	21	23	17	2	149

・チーム員会議の開催

訪問支援対象者ごとに、観察・評価内容を総合的に確認し、支援方針、支援内容、支援頻度等を検討するため、専門医も含めたチーム員会議を行った。

その他、随時窓口相談終了後、地域包括内で処遇検討等実施した。

医師も含めた会議開催日：4月3日、6月10日、8月5日、10月21日、
12月9日、2月10日

・啓発活動・研修会等

○職員の資質向上のため、研修会に出席した。

認知症初期集中支援チーム員研修 7月19日

厚木アルツハイマーセミナー 2月3日

○「愛川町認知症ケアパス」を窓口来所者に配布した。

○9月21日の世界アルツハイマーデーにちなみ、高齢介護課と一緒に役場ロビーにコーナーを設け、認知症に関するパンフレット等を配架した。

○認知症サポーター養成講座等を実施した。(再掲)

愛川町役場職員 北央医療生協 愛川・清川支部

8. あいかわ福祉サービス協会の運営 (後述)

9. 愛川町ありんこ中津・高峰作業所の運営

(1)障害者総合支援法による「就労継続支援事業 (B型)」の実施

心身障がい者等が、地域社会の一員として就労を目指し、作業訓練を行う場所である、ありんこ作業所を本協議会が指定管理者 (令和6年度～12年度) として運営を行った。

〔基礎的事項〕（令和 8 年 3 月末現在）

- ・入 所 者 23 人
- ・年間入所者 302 人（月別入所人数の合計）
- ・所 員 工 賃 4,394,833 円（1 人平均 16,577 円／月）
- ・労働日数計 5,214 日（1 人平均 19.75 日／月）
- ・職 員 所長（管理者） 1 名 事務担当職員（1 名）
中津 主任指導員（1 名）指導員（1 名）補助指導員（7 名）
高峰 主任指導員（2 名）補助指導員（4 名）

◆就労継続支援 B 型事業 利用回数 (単位：回数)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
中津作業所	299	296	308	319	233	275	298	241	280	253	250	292	3,344
高峰作業所	187	176	189	148	143	171	183	133	155	145	128	162	1,920
計	486	472	497	467	376	446	481	374	435	398	378	454	5,264
入所者数	27	27	27	27	27	27	25	23	23	23	23	23	302

(2) 就労継続支援事業の実施

〔就労に必要な技能習得訓練〕

軍手の洗濯、DVD 解体、ブラインド部品の検品、乾燥野菜の製造 他

〔人間関係の習得指導〕

体操指導 毎月 第 2 水曜日

趣味等教養習得事業 随時（太鼓）

〔基礎的な生活習慣習得の指導〕

研修旅行（小田原方面） 12 月 17 日

〔その他〕

新春のつどい、遠足（5 月 9 日）、ケース会議（年 1 回）、職員会議（毎月）

避難訓練（年 4 回）

10. 苦情解決第三者委員会の設置

利用者からの苦情に対して、弁護士、社会福祉士、本会評議員から選任する第三者委員を設置し、苦情解決に向け委員会を開催した。

開催日 6 月 17 日 令和 6 年度に寄せられた苦情・意見件数 5 件

安定充実した組織運営体制の整備に向けて

1. 計画及び組織体制・運営の強化に向けて

(1) 社会福祉協議会会員加入の促進

各行政区の役員等を通じて、社協会員の加入促進を行った。

(2) 理事会・評議員会・監事会等の定例開催

- 理事会の開催（7回）
- 評議員会の開催（4回）
- 監事会の開催（決算監査5月2日）、（上期監査11月5日）
- 正副会長会議（2月20日）
- 年末たすけあい募金配分会議（11月26日）
- ボランティアセンター運営委員会、社会福祉基金管理委員会、ボランティア活動振興基金管理委員会（2月16日）

(3) 情報化推進事業の継続

広報誌、ホームページで財務状況等を公表した。

(4) 町計画策定への参画

町計画策定の構成員として参画した。

- 愛川町生涯学習推進調整会議
- 愛川町男女共同参画行政推進会議
- 愛川町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
- 愛川町障がい者計画

2. 安定的な財政運営に向けて

(1) 社協会員全世帯加入の促進

地域住民が参加した自主組織としての基盤の確立と自主財源の確保を図るため、会員加入の促進を図った。

	特別（口）	賛助（口）	一般（口）	合計（口）
行 政 区	15	73	5,398	5,486
行政区未加入者等	0	8	2	10
事 業 所	61	0	0	61
合 計	76	81	5,400	5,557

※会費額（一口） 特別会員 5,000 円 賛助会員 1,000 円 一般会員 500 円

※会員に対するサービスとして、わた菓子機、かき氷機、ポップコーン機等の貸出しを行った。

(2) 寄付金品の有効活用

ボランティアセンターに寄託された金品を、寄託者の趣旨に基づき配分した。

寄 付 金 77 件

(3) 基金及び事務資金の適切な管理・運用

- ・社会福祉基金の造成

民間社会福祉事業の振興と、地域福祉活動の推進を図ることを目的に設置し

ている社会福祉基金の充実強化を図った。

積立金	2,645,607 円
基金保有額	91,511,161 円（令和8年3月末）

・ボランティア活動振興基金の造成

社会福祉意識の高揚とボランティア活動の積極的振興を図ることを目的に設置しているボランティア活動振興基金の充実強化を図った。

積立金	1,137,758 円
基金保有額	35,502,293 円（令和8年3月末）

(4) 収益事業の運営

福祉センターのふれあいショップ希望の運営のほか、役場庁舎、中津公民館などに飲料の自動販売機を設置し、自主財源の確保に努めた。

3. 事務局体制の強化に向けて

(1) 事務局体制の充実

事務局長	山野 篤（専任）	主 幹	野口 大介（専任）
副主幹	村上 康恵（専任）	副主幹	井上 晴香（専任）
主 査	河野 敦志（専任）	主任主事	安齋 快水（専任）
主 事	秋本 樹（専任）	主 事	関戸 優太（専任）
主事補	内藤 拓実（専任）	主事補	寺崎 隼人（専任）
地域包括センター長	皆川とく江（嘱託）	サービス協会C0	田中 智子（嘱託）
介護支援専門員	奈良田 明（嘱託）	介護支援専門員	志茂久美子（非常勤）
移送員	野口 典幸（非常勤）		

(2) 専任職員スキルアップ支援

専任職員の資質向上、専門性を高めるため専門資格取得を支援した。

精神保健福祉士資格取得	介護福祉士資格取得
福祉用具専門相談員資格取得	

(3) 備品機材等の整備

社協としての必要な備品、機材を整備した。

4. 団 体 事 務

福祉団体等を支援育成するため、次の団体事務局を担当し運営強化に努めた。

神奈川県共同募金会愛川町支会	愛川町ボランティア連絡協議会
愛川町手をつなぐ育成会	愛川町母子福祉会

あいかわ福祉サービス協会の運営

町民の参加と協力のもとに、家事援助・介助などを必要とする世帯の福祉向上を図り、町民の連帯と相互扶助を促進することを目的に、あいかわ福祉サービス協会の運営にあたった。

◆行政区別会員数

(単位：人)

行政区	会員区分		利 用 会 員 の 世 帯 区 分						
	協 力	利 用	高 齢	障がい	傷 病	母 子	父 子	出 産	その他
川 北	1	0	0	0	0	0	0	0	0
宮 本	0	1	1	0	0	0	0	0	0
原 臼	1	0	0	0	0	0	0	0	0
両 向	1	0	0	0	0	0	0	0	0
細 野	0	0	0	0	0	0	0	0	0
田 代	2	0	0	0	0	0	0	0	0
角 田	1	0	0	0	0	0	0	0	0
三 増	0	0	0	0	0	0	0	0	0
箕 輪	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小 沢	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上 熊 坂	3	0	0	0	0	0	0	0	0
熊 坂	0	1	1	1	0	0	0	0	0
下谷八菅山	0	0	0	0	0	0	0	0	0
二 井 坂	0	0	0	0	0	0	0	0	0
桜 台	0	1	1	0	1	0	0	0	0
半 縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0
坂 本	0	0	0	0	0	0	0	0	0
六 倉	0	1	1	1	0	0	0	0	0
大 塚	2	2	2	1	0	0	0	0	0
桜台団地	0	1	1	0	0	0	0	0	0
春 日 台	0	2	2	0	0	0	0	0	0
合 計	11	9	9	3	1	0	0	0	0

* 世帯区分については重複あり

◆会員の年齢区分

(単位：人)

区 分		20 歳未満	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代	合 計
利用会員	男性	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	女性	0	0	0	0	0	0	4	2	2	8
協力会員	男性	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	女性	0	0	0	0	4	2	4	0	0	10

◆利用頻度

(単位:人)

週 1 回	週 2 回	週 3 回	週 4 回	週 5 回	1～2 回／月	5～6 回／年	1～2 回／年	登録のみ	合計
2	2	0	0	0	4	0	1	0	9

◆利用延べ時間

(単位:時間)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
32	27	27	29	31	22	28	20	20	21	23	26	306

◆利用延べ人数

(単位:人)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
29	26	27	27	26	22	22	16	19	19	22	25	280

◆定期訪問延べ回数

(単位:回)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
6	9	6	5	5	6	6	7	5	5	6	7	73

◆家事援助・身体介護に関するサービス活動(利用)状況

(単位:回)

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
家事援助	掃 除	15	14	11	14	13	10	8	7	5	9	10	9	125
	洗 濯	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	買 い 物	9	9	10	8	9	9	9	5	9	8	8	9	102
	調 理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	1	2	0	1	2	0	0	4	0	0	0	0	10
	小 計	25	25	21	23	24	19	17	16	16	17	18	18	239
身体介護	散 歩	5	1	2	4	0	1	1	0	0	1	0	0	15
	通 院	2	1	1	1	3	0	3	3	1	1	1	0	17
	食 事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	排 泄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	着 脱	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	リハビリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手	16	13	13	15	12	11	8	5	6	5	11	12	127
	入 浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保 育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	8	6	4	7	6	3	0	0	0	1	0	1	36
	小 計	31	21	20	27	22	15	12	8	7	9	12	13	197
合 計		56	46	41	50	46	34	29	24	23	26	30	31	436

理 事 会 議 決 事 項

理事会	議案番号	件 名	議決日	結果
第 1 回	議案第 1 号	令和 6 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会 事業報告の承認について	R7. 5. 9	承認
	議案第 2 号	令和 6 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会 決算の承認について		〃
	報 告	監事会の監査結果報告		
	議案第 3 号	理事・監事候補者の推薦について		〃
	議案第 4 号	評議員の任期満了に伴う後任評議員候補者の推薦 について		〃
	議案第 5 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会評議員選任・ 解任委員会 委員の選任について		〃
	議案第 6 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会評議員選任・ 解任委員会の招集について		〃
	議案第 7 号	令和 7 年度第 1 回評議員会の招集について		決定
	議案第 8 号	令和 7 年度第 2 回評議員会の招集について		〃
	議案第 9 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会非常勤職員・ 嘱託職員賃金基準の一部改正について		同意
	議案第 10 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会権利擁護推進 委員会設置要綱の制定について		〃
	議案第 11 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会権利擁護推進 委員会委員の選任について		〃
	議案第 12 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会移送サービス 事業実施要綱の一部改正について		〃
	議案第 13 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会住民参加型送 迎サービス事業実施要綱の一部改正について		〃
第 2 回	議案第 14 号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会正副会長の選 定について	R7. 6. 9	選定
第 3 回	議案第 15 号	令和 7 年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資 金収支補正予算（第 1 号）について	R7. 7. 11	承認
	議案第 16 号	各種委員会委員の選任について		同意
	議案第 17 号	愛川町ありんこ作業所の指導員、補助員及び臨時 職員の賃金等に関する基準の一部改正について		〃
	議案第 18 号	令和 7 年度第 3 回評議員会の招集について		決定
	報 告 〃	社会福祉充実残額について 会長の職務執行状況について		

第4回	議案第19号	令和7年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の承認について	R7.12.10	承認
	議案第20号	理事・監事候補者の推薦について		〃
	議案第21号	評議員の辞任等に伴う後任評議員候補者の推薦について		〃
	議案第22号	評議員選任・解任委員会の招集について		決定
	議案第23号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会職員給与規定の一部改正について		同意
	議案第24号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員賃金基準の一部改正について		〃
	議案第25号	一般会員、賛助会員、特別会員入会申し込みの承認について		承認
	報告 報告	令和7年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会上半期財務状況監査（4～9月）結果報告 会長の職務執行状況について		
第5回	議案第26号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会副会長の選定について	R7.12.10	選定
第6回	議案第27号	令和7年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）の承認について	R8.3.6	承認
	議案第28号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会非常勤職員・嘱託職員賃金基準の一部改正について		〃
	議案第29号	令和8年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会事業計画について		同意
	議案第30号	令和8年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支予算について		〃
	議案第31号	評議員会の招集について		決定
第7回	議案第32号	苦情解決第三者委員会委員の選任について	R8.3.26	同意
	議案第33号	令和8年度資金の預入れ先について		〃
	議案第34号	社会福祉法人愛川町社会福祉協議会緊急援護資金償還金の不納欠損処理の承認について		承認

その他業務執行に関する協議事項・報告事項

理事会	件 名
第1回	令和7年度ボランティア育成計画について 今後の日程について
第2回	理事会議長等選出の申し合わせについて
第3回	理事の役割分担について 役員視察研修について 令和6年度中に寄せられた苦情について
第4回	各種委員会委員の選任（7/11）に係る報告 令和8年福祉団体合同新年賀詞交歓会のについて 福祉講演会、ボランティアのつどいについて 法人後見事業の実施状況について 共同募金運動について 地域包括支援センターの運営状況について

	就労継続支援B型事業の運営状況について
第5回	今後の日程について
第6回	ボランティアセンター運営委員会、社会福祉基金管理委員会、ボランティア活動振興基金管理委員会の審議結果について 年間事業予定について 今後の予定について
第7回	法人後見事業の受任状況について 就労継続支援B型事業の運営状況について 地域包括支援センターの運営状況について

評 議 員 会 議 決 事 項

評議員会	議案番号	件 名	議決日	結果
第1回	議案第1号	令和6年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会事業報告の承認について	R7.6.3	承認
	議案第2号	令和6年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会決算の承認について		〃
	報 告	監事会の監査結果報告		選任
	議案第3号	任期満了に伴う理事の選任について		〃
	議案第4号	任期満了に伴う監事の選任について		
第3回	議案第5号	理事の辞任に伴う後任の選任について	R7.12.10	選任
	議案第6号	監事の辞任に伴う後任の選任について		〃
	議案第7号	令和7年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第1号）の承認について		承認
第4回	議案第8号	令和7年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第2号）の承認について	R8.3.26	承認
	議案第9号	令和7年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支補正予算（第3号）の承認について		〃
	議案第10号	令和8年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会事業計画について		〃
	議案第11号	令和8年度社会福祉法人愛川町社会福祉協議会資金収支予算について		〃

その他の協議事項・報告事項

評議員会	件 名
第1回	令和6年度社会福祉法人神奈川県共同募金会愛川町支会事業報告並びに決算報告について
第2回	社会福祉協議会の組織、事業、予算について（愛川町社会福祉協議会定款、社会福祉協議会とは） 社会福祉協議会の年間事業日程について
第3回	会員加入結果について 共同募金運動について（赤い羽根募金、年末たすけあい募金の状況について） 令和8年福祉団体合同新年賀詞交歓会について 福祉講演会、ボランティアのつどいについて

第4回	令和8年度社会福祉法人神奈川県共同募金会愛川町支会事業計画並びに資金収支予算について 社協の年間事業日程について 令和8年度社会福祉協議会会費納入のお願いについて
-----	---

役員に関する事項

(敬称略)

年月日	摘 要
R7.6.3	令和7年6月3日付けで任期満了となり、次の方が就任した。 (理事) 吉邑 高志 平本 明敏 角田 繁和 小島 重夫 岡部眞由美 井上 桂 林 政信 岸上 敦子 小林 弘 篠崎 美和 中村 美好 石井 康弘 高橋 聡 (監事) 大野 茂 深沢 修 原田 靖子
R7.6.9	正副会長に次の方が就任した。 (会長) (副会長) (副会長) 石井 康弘 小島 重夫 吉邑 高志
R7.12.10	役職の異動等による退任に伴い、次の方が就任した。 (理事) 小島 重夫 退任 後任に 深沢 修 岸上 敦子 退任 後任に 井上 博明 (監事) 深沢 修 退任 後任に 佐藤 和重 (副会長) 小島 重夫 退任 後任に 深沢 修

評議員に関する事項

(敬称略)

年月日	摘 要
R7.6.3	令和7年6月3日付けで任期満了となり、次の方が就任した。 (評議員) 成瀬 英男 小島 宏一 山口 芳弘 染矢 敬一 野口 博史 沼田 直己 橋本 和明 薄 岩夫 熊坂 富夫 相川 直行 原 正明 井上 幸一 栗山登喜雄 大野 藤男 山内 潔 齋藤 千春 千田 昭博 五十嵐孝一郎 天野 裕幸 小曾根 潔 渡邊 基 馬場恵美子 船山 政幸 熊谷 直丈 中島 良一 梅澤 弘見 小林 利彦 米澤 明範 熊坂 和子 中山 卓也

R8. 1. 14	役職の異動に伴い、次の方が就任した。 (評議員) 甘利 敦子 今井 揚一 梅澤 貞人
-----------	--

評 議 員 選 任 ・ 解 任 委 員 会 議 決 事 項

選任・解任委員会	件 名	結果
R7. 5. 22	評議員の選任について	承認
R8. 1. 14	評議員の選任について	承認